

# 第2回

地域包括支援センター展勝地圏域内

## 介護支援専門員事例検討会

令和2年11月12日（木） 10：30～

地域包括支援センター展勝地 地域交流ホール

主催 地域包括支援センター展勝地圏域  
主任介護支援専門員連絡会

# 地域包括支援センター展勝地圏域事例検討会目的

- ▶ 地域包括支援センター展勝地圏域内ケアマネージャー、事業所の皆様と顔の見える関係を築き、気軽に相談し合える関係を構築する。
- ▶ 法人を超えて事例検討会、研修会など行う上でお互いを知ることが大事。ケアマネージャー、関係機関とのネットワーク構築。
- ▶ 支援困難事例検討、多職種・関係機関連携、地域課題の抽出、地域の社会資源の開発。
- ▶ 地域の主任介護支援専門員として必要な知識・技術の向上。

※主任介護支援専門員のケアマネジメント力の更なる向上（事例検討におけるファシリテーション・プレゼンテーション能力など）

※主任介護支援専門員同士のネットワークの構築

※事業所内介護支援専門員へのS Vの向上

※地域づくりへの参画

# 次 第

① 開 会 地域包括支援センター圏域主任介護支援専門員連絡会  
代 表 大塚 広美 氏

② アドバイザー紹介

北上市ひきこもりネットワーク協議会 会長 菊地 里枝 氏

北上市保健福祉部福祉課障がい福祉係 菅原 奈保子 氏

北上市保健福祉部長寿介護課高齢福祉係 高橋 翔樹 氏

③ 事例紹介

事例提供者 八天の里在宅介護支援センター 管理者 小野寺芳江主任介護支援専門員

テーマ「無職の社会的ひきこもりの息子にお金を渡しすぎ、必要なサービスを受けられない父への支援」

④ 参加者より質疑

⑤ グループワーク

⑥ アドバイザーより助言

⑦ 事例提供者より感想

⑧ 次回事例検討について

令和3年2月予定 事例提供者 エスカール在宅介護支援センター

# グループワーク発表内容

- ▶ 社協の就労支援と関わってみてはいかがでしょうか。
- ▶ 福祉用具などあって環境整備しても良いと思う。
- ▶ 介護すべき人を支援する人が明確になっていない。
- ▶ 本人がどうしたいのか、息子がどうしたいのか意向確認。
- ▶ 外に住んでいる家族の意向に引っ張られているのではないだろうか。
- ▶ 息子ができることは何か。家事のやり方を教える。
- ▶ 息子さんが心を開いて話せる人を見つける。

# アドバイザーより

- ▶ 息子さんの就労支援については、社協に連絡いただき一緒に訪問していきたいです。
- ▶ 息子さんの興味のあることから支援できれば良いかと思えます。
- ▶ 車を運転していても療育手帳をもらえる方もいるので、手続きを検討しても良いかと思われる。ただし、誰が軸となって生い立ちをはなせるかが問題である。

# 事例提供者感想

- ▶ 皆さんからの意見で、「外の家族の意向に引っ張られているのでは・本人や息子さんの意向は確認できているだろうか」と意見が出て、自分でも思い当たる部分がたくさんありました。このケースは何から手を付けたらよいただろうと戸惑ったケースでもあり、今回の意見は参考となりました。

事例提出後に家族関係や今後の方向性がみえる急展開があり、良い結果となりましたが、そうでない結果になったかもしれません。今回のアドバイスは今後のケアの参考にもなりました。

事例を検討していただきありがとうございました。

# 事例検討会の様子

2020/11/11



# 参加事業所

- ①介護相談センターふたご
- ②エスカール在宅介護支援センター
- ③居宅介護支援事業所浮牛の里
- ④八天の里在宅介護支援センター
- ⑤看護小規模多機能居宅介護きずなの森
- ⑥ホームケアクリニックえん
- ⑦北上済生会病院（研修医）
- ⑧北上市社会福祉協議会
- ⑨市福祉課、長寿介護課

※開催にあたり、新型コロナウイルス感染防止対策として、3密を避け、検温、消毒、座席の距離を空ける、換気等の対策を講じました。